

収納システム [レクトライン]

Rectlineシリーズ

取扱説明書

このたびはオカムラ製品〈レクトラインシリーズ〉をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は〈レクトラインシリーズ〉を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用前に本書をよくお読みになり、内容をご理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。

また、後日参照できるように保管していただくようお願いいたします。



1. 安全にお使いいただくために……………	1P
2. ご使用上の注意……………	4P
3. ご使用方法……………	4P
4. 未永くお使いいただくためのお願い……	10P
5. 仕様……………	10P

1. 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

図記号についての説明

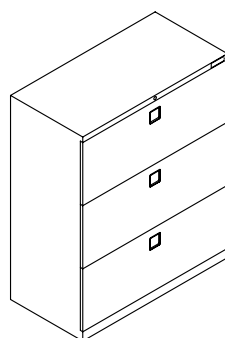
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。
 注意	この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物理的損害の発生が想定される内容を表しています。

△ 注意をうながしていることを表しています。

注意喚起ラベルの説明

- ロッカーの内部には、使用者の生命、身体、財産への危害や損害を防ぐ目的として、下記の注意ラベルが貼ってあります。注意事項をお守りになりご使用ください。
- 注意ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり、剥がしたりしないでください。





使用上の注意 okamura

- 引き出しは、2段以上引き出さないでください。
- 収納物は、最下段の引き出しから入れてください。
- 本体は、必ず上下・左右を連結してください。やむを得ず単体で使用する場合は、必ず床・壁に固定してください。

警告

**コンセントの取扱いに関しては下記事項をお守りください。
誤った取扱いをすると火災や感電の恐れがあります。**

- カップケース用コンセントは接続する電気機器の電流容量を確認し、その合計が12A・100V (1200W) を越えないよう、ご使用ください。
- 濡れた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。（水は電気を通し易いので感電の恐れがあります。また、足元が濡れている場合は一層感電し易くなりますので、ご注意ください。）
- プラグの差し込み口に、金属類（ヘアピンや針金等）を絶対に挿入しないでください。
- 差し込みプラグをコンセントから抜く時は、コードを引張って抜かないでください。プラグを持って真直ぐ抜き差ししてください。（プラグの刃を曲げたり、コンセントの破損又は刃受を変形させて大変危険です。）
- 電気機器のプラグを抜き差しする時は、必ず電気機器のスイッチを切(OFF)にした状態で行なってください。
- 電気ポット等で、カップケース内で湯をわかす場合は湯気によりサビの原因となりますので、湯をわかす際は扉を開けた状態で使用し、沸騰後扉を閉めてご使用ください。
- 筐体内に電源コンセント類（テーブルタップ）を設置する場合は容量オーバーにならないようご注意ください。

1. 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠注意

**乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。
破損や転倒によりケガをする恐れがあります。**

- 踏み台として使用しないでください。
- 引出しの中に危険物（壊れ物、薬品、生き物など）を収納しないでください。
- この製品の鍵は盗難防止用ではありませんので、貴重品は保管しないでください。

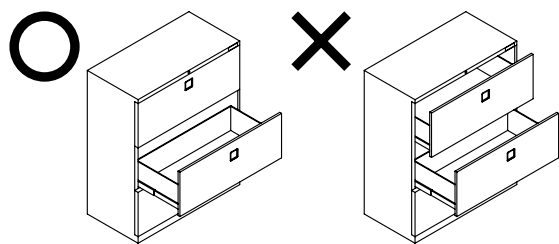
引出しを開けたまま施錠しないでください。

- オールロック式のワゴンの鍵をかける場合、引出しを開けた状態で施錠はしないでください。

スキマや可動部には手や指を入れないでください。ケガをする恐れがあります。

**破損や転倒の恐れがありますので、
以下のことがらにご注意ください。**

- 本体にもたれたり、腰掛けたりしないでください。
- 引出しは、引き出した状態で上から質量を掛けしないでください。又、引出しはゆっくりと引いてください。強く引出すとストッパー破損の原因となり抜け落ちの恐れがあります。
- 同時に2つ以上の引出しを引き出さないでください。また、各引出しにバランスよく収納してください。転倒防止のため、重いものは下段引出しに収納してください。



- 使用時以外の開放は、思わぬ事故の原因になります。使用時以外は必ず閉めてください。
- 天板面に物を載せる時は、静かに載せてください。
- ボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は締め直してください。
- 部品が外れたまま使用しないでください。

保管庫について

- 庫内に物を入れ過ぎないでください。
また、衣類などを挟んだまま扉を閉じないでください。扉が圧迫され、錠前のロック機構に負荷がかかり、施開錠不良となる可能性があります。

分解・修理はしないでください。

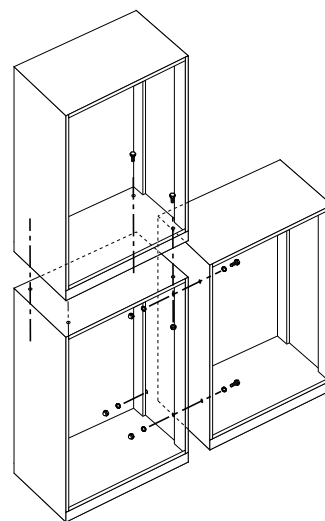
- お客様での分解・修理は大変危険ですので、必ず弊社販売窓口までご連絡ください。
- ボルトやネジが緩んだまま使わないでください。本体が壊れてケガをする恐れがあります。

**改造はしないでください。
故障や事故の原因となります。**

- お客様による改造は、故障の原因となります。また、その場合の責任は弊社として負いかねます。
- 改造が必要な場合は、事前に弊社販売窓口までご連絡ください。

組立・設置について

- 本製品は、必ず上下左右連結・床固定等の転倒防止対策をした状態でご使用ください。転倒防止対策のない設置は、転倒によるケガの原因となります。（連結されていない場合は、弊社販売窓口までご連絡ください）



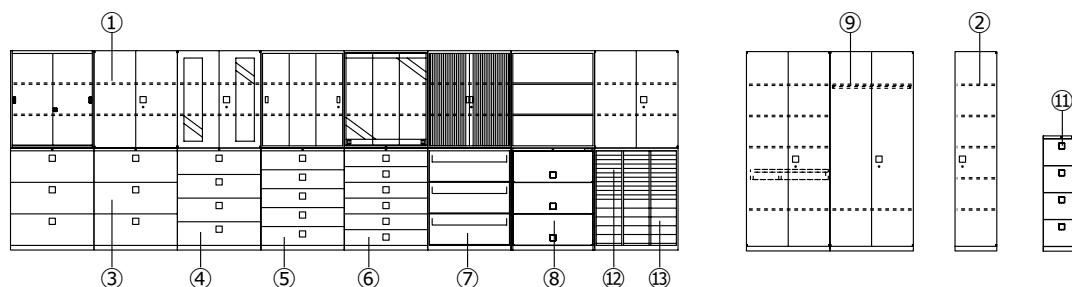
- やむを得ず本製品を単体（1台のみ独立）で 사용되는場合は、必ず床・壁に固定してください。（※高さ760mmのラテラルキャビネットは単体での使用をおやめください。引き出した際に転倒の危険性があります）
- 本製品の設置は必ず弊社の専門担当にご依頼ください。施工が不適切な場合、製品の転倒によるケガの原因となります。
- 本製品に取り付けされているコード（対象製品：カップケース）は人や運搬車などに直接踏まれないようにしてください。また、コードを造営材等にステーブルや釘などで固定して使用しないでください。
- 地震対策として床または壁への固定をご要望される場合は、弊社販売窓口までご連絡ください。

1. 安全にお使いいただくために（必ずお守りください）



最大積載質量を超えるものをのせないでください。転倒や破損の恐れがあります。

- 最大積載質量は表のようになっていきます。表記の数値を超えないようにご注意ください。最大積載質量を超えるものを収納すると、棚板、引出しが落下してケガをすることがあります。また、収納物は偏りなく等分にかかるよう収納し、かつ、下の段から順に収納してください。なお、本製品をスリムラインに搭載する場合の棚板の最大積載質量は（ ）内の値を適用してください。最大積載質量を超えるものをのせないでください。転倒や破損の恐れがあります。



積荷部	最大積載質量
900W×500D	
1 棚板900W用	57kg (等分布質量)
3 ラテラル大引出し (3段)	60kg (等分布質量)
8 オープンラテラル引出し (2, 3段)	60kg (等分布質量)
9 ワードローブハンガーパイプ900W	20kg (等分布質量)
18 浅型900W A3用 (クリスタルトレー)	2kg (等分布質量)
900W×450D	
1 棚板900W用	51 (36) kg (等分布質量)
2 棚板450W用	26kg (等分布質量)
3 ラテラル大引出し (2, 3, 4段)	60kg (等分布質量)
4 ラテラル中引出し (4段)	21kg (等分布質量)
5 ラテラル小引出し (5段)	17kg (等分布質量)
6 ラテラル小引出し (6段)	14kg (等分布質量)
7 雑誌架棚板	41kg (等分布質量)
8 オープンラテラル引出し (2, 3段)	60kg (等分布質量)
9 ワードローブハンガーパイプ900W	20kg (等分布質量)
10 ワードローブハンガーパイプ450W	16kg (等分布質量)
900W×400D	
1 棚板900W用	44 (31) kg (等分布質量)
2 棚板450W用	22kg (等分布質量)
3 ラテラル大引出し (2, 3, 4段)	50kg (等分布質量)
4 ラテラル中引出し (4段)	19kg (等分布質量)
5 ラテラル小引出し (5段)	15kg (等分布質量)
6 ラテラル小引出し (6段)	13kg (等分布質量)
7 雑誌架棚板	36kg (等分布質量)
8 オープンラテラル引出し (2, 3段)	50kg (等分布質量)
9 ワードローブハンガーパイプ900W	12kg (等分布質量)
10 ワードローブハンガーパイプ450W	12kg (等分布質量)

※等分布質量とは……

天板等に均等に質量をのせることを意味します。部分的に偏った質量をのせるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

積 荷 部		最大積載質量	
800W×450D			
1	棚板800W用	40 (31) kg (等分布質量)	
2	棚板400W用	20kg (等分布質量)	
3	ラテラル大引出し (2、3、4段)	60kg (等分布質量)	
4	ラテラル中引出し (4段)	20kg (等分布質量)	
5	ラテラル小引出し (5段)	16kg (等分布質量)	
6	ラテラル小引出し (6段)	13kg (等分布質量)	
7	雑誌架棚板	36kg (等分布質量)	
8	オープンラテラル引出し (2、3段)	60kg (等分布質量)	
9	ワードローブハンガーパイプ800W	18kg (等分布質量)	
11	バーチカル引出し (3、4段)	30kg (等分布質量)	
800W×400D			
1	棚板800W用	40 (30) kg (等分布質量)	
2	棚板400W用	20kg (等分布質量)	
3	ラテラル大引出し (2、3、4段)	50kg (等分布質量)	
4	ラテラル中引出し (4段)	18kg (等分布質量)	
5	ラテラル小引出し (5段)	14kg (等分布質量)	
6	ラテラル小引出し (6段)	12kg (等分布質量)	
7	雑誌架棚板	32kg (等分布質量)	
8	オープンラテラル引出し (2、3段)	45kg (等分布質量)	
9	ワードローブハンガーパイプ800W	12kg (等分布質量)	
11	バーチカル引出し (3、4段)	25kg (等分布質量)	
700W×450D			
1	棚板700W用	39kg (等分布質量)	
2	ラテラル引出し (2段)	上段	45kg (等分布質量)
		下段	50kg (等分布質量)

450D・400D共通 (クリスタルトレー)		
12	浅型 900W A4用	1kg (等分布質量)
13	深型 900W A4用	2kg (等分布質量)
14	浅型 800W用・900W450D シャッタークリスタル用	1kg (等分布質量)
15	深型 800W用・900W450D シャッタークリスタル用	2kg (等分布質量)
16	浅型 900W400Dシャッタークリスタル用	1kg (等分布質量)
17	深型 900W400Dシャッタークリスタル用	2kg (等分布質量)

2. ご使用上の注意

下記事項をお守りにならなかった場合は、不具合が生じる場合があります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

設置の際のお願い

屋内でのご使用をお願いいたします。

- 屋外や水のかかるところ等では、反り・カビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。

- 窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

水平を保つように設置してください。

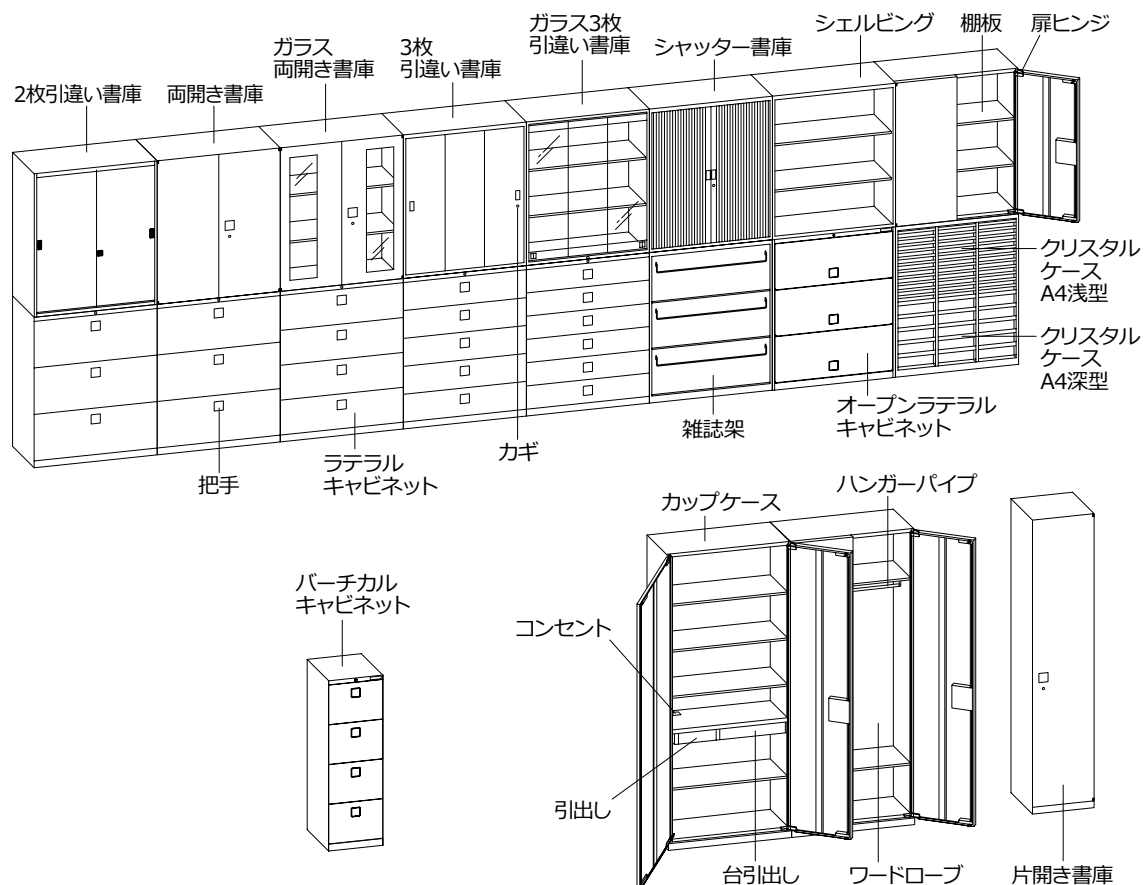
- 設置するときは、必ず本体を水平に保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置しますと、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。

適切な換気の励行に関するお願い

- 購入当初は化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は換気や通風を十分に行ってください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないでください。

3. ご使用方法

各部の名称

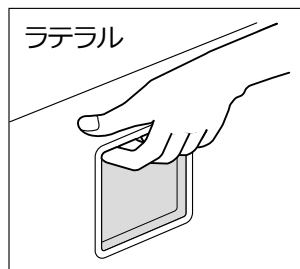
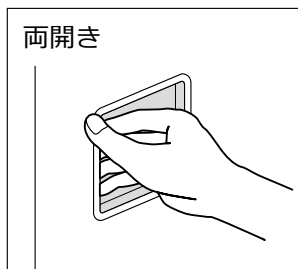


3. ご使用方法

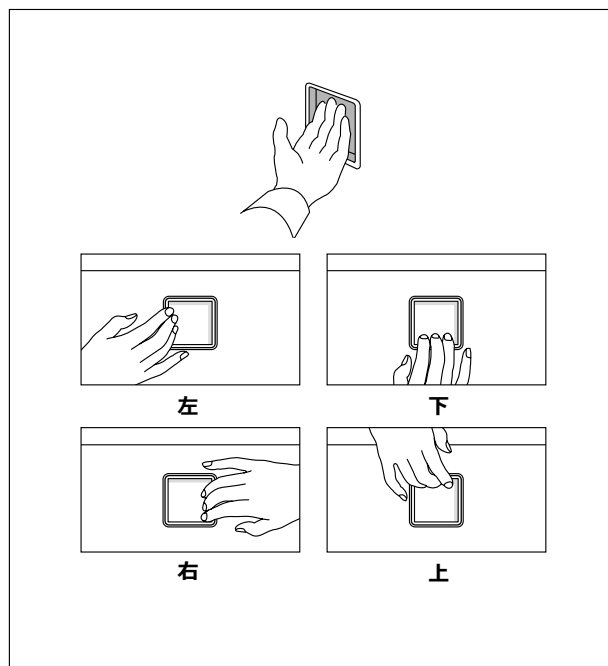
操作方法

■扉

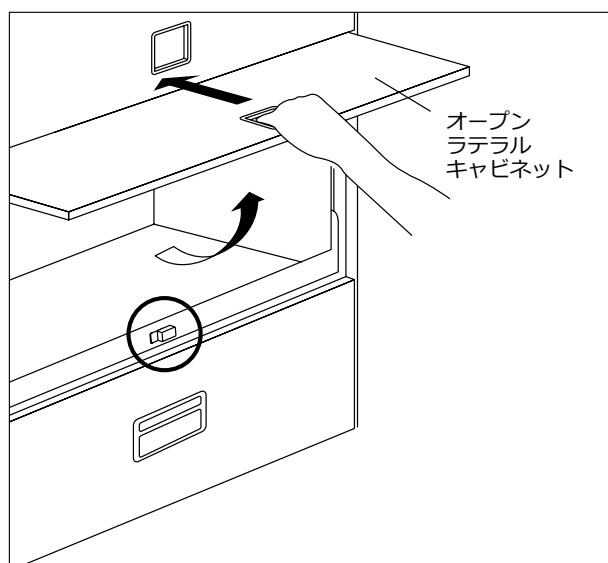
- 両開き又は片開き扉を開ける時は、上下左右の扉及び引出しが閉まっていることを確認した上で行ってください。また、ご使用後は必ず閉めてください。（開いた状態では、ケガの原因となります）



※扉や引出しを開ける時、図のように親指を添えて、把手を残りの指で引ってください。



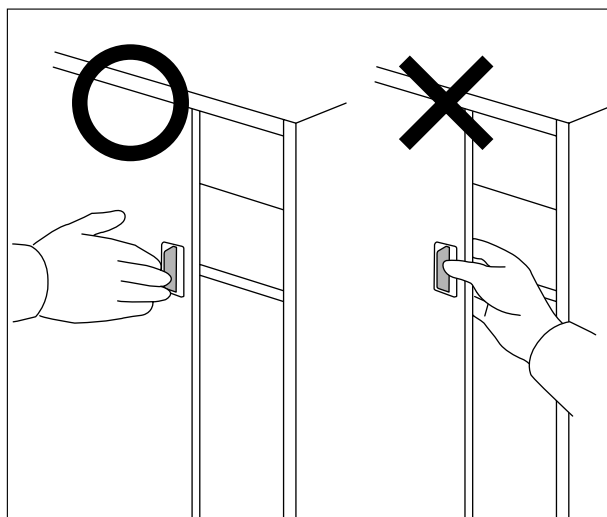
- オープンラテラル扉や雑誌架の扉を開ける時は、扉を水平になるまで持ち上げてから押し込み、閉じる時は引き出してから静かに降ろすよう操作してください。また、開ける時に指をはさまないようにご注意ください。



- 引違い扉は必ず把手を持って開閉してください。
- 収納物は奥まで入れてから扉を閉めてください。収納物が飛び出した状態で無理に扉を閉めると、扉が開かなくなる恐れがあります。

⚠ 注意

- ・扉を持って開閉すると指はさみやケガの原因となります。
- ・戸裏に手を入れないでください。リンク機構部に挟まれケガをする恐れがあります。
- ・戸をスムーズに開閉させるために把手を持って操作してください。



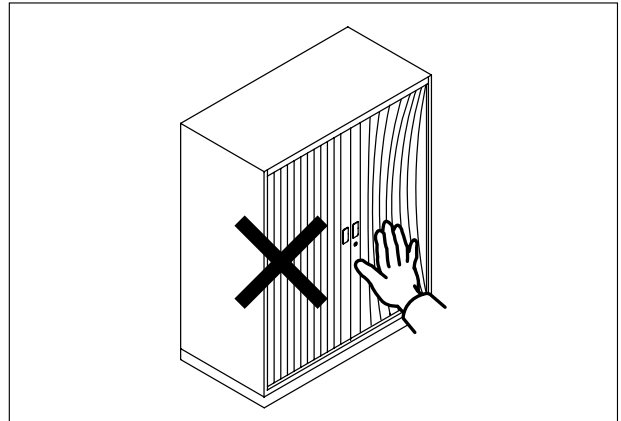
3. ご使用方法

操作方法

- シャッター扉は必ず把手を持って開閉してください。

⚠ 注意

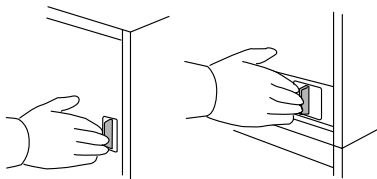
シャッター扉は閉めた状態で正面から押さないでください。無理に力を加えると破損の原因となります。



■ラッチ機構

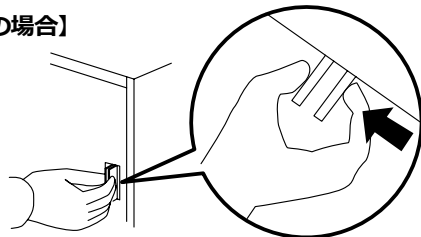
- 扉及び引出しにはラッチ機構が付いています。扉及び引出しを閉める時はラッチの掛かり（閉めきると、カチッと音がします）を確認してください。外れている場合、他からの振動などで開いてくる危険性があります。

【3枚引戸用の場合】



把手を押して開いてください。

【2枚引戸用の場合】



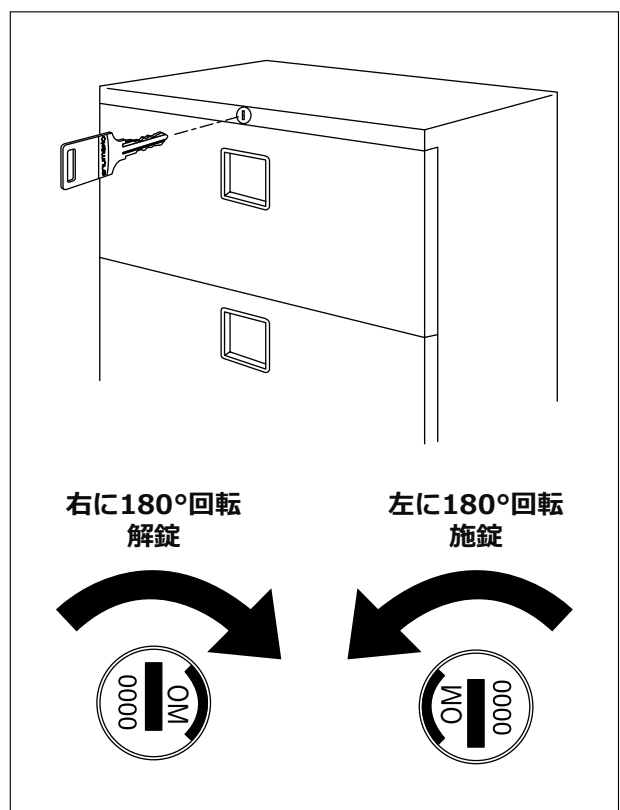
把手を握って開いてください。

■鍵

- 鍵は左に180°回転しますと施錠され、右に180°回転しますと解錠されます。
- ラテラルの鍵は左に180°回転しますと、引出しの全てが施錠（オールロック機構）され、右に180°回転しますと解錠されます。（セパレートロックタイプは引出し一段ずつ施錠が必要です）
- 施錠はすべての引出しや扉が閉まっている状態を確認してから、鍵をお掛けください。引出しや扉が開いている状態で施錠後、引出しや扉を閉めるとロック状態となりますので十分ご注意ください。

⚠ 注意

- ・キーを差し込んだままにすると、ケガや衣服を損傷する恐れがありますので、使用後は必ず抜いてください。
- ・この製品の施錠は、故意による解錠やこじ開け等には対応しておりません。貴重品等の保管には十分ご注意ください。

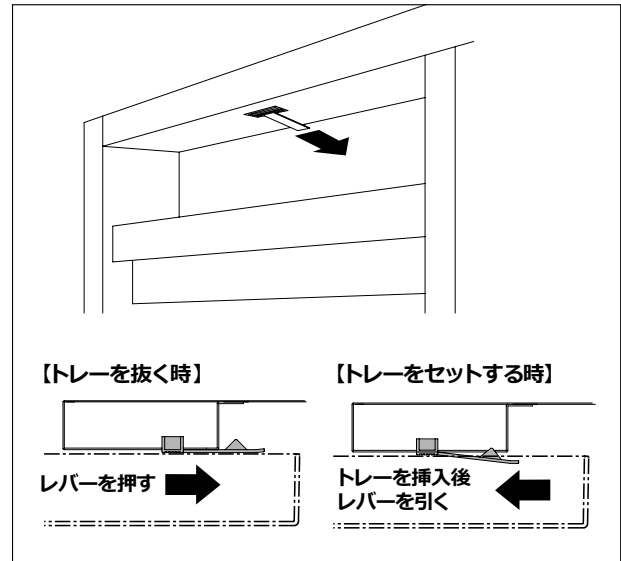


3. ご使用方法

操作方法

■クリスタルトレー

- トレーは同じサイズで入れ替えができます。最大までトレーを引き出したところで斜め上に引き抜いてください。逆方向の動きで挿入できます。最上段の取り外しのみ筐体内上部にある樹脂部品を奥側に押し込むことによりトレーが取りはずせます。
- トレーを引き出した状態で収納物以外の負荷はかけないでください。
- 使用時以外の開放はぶつかり、つまずき等の原因になりますので、使用後は必ず、トレーを元に戻してください。

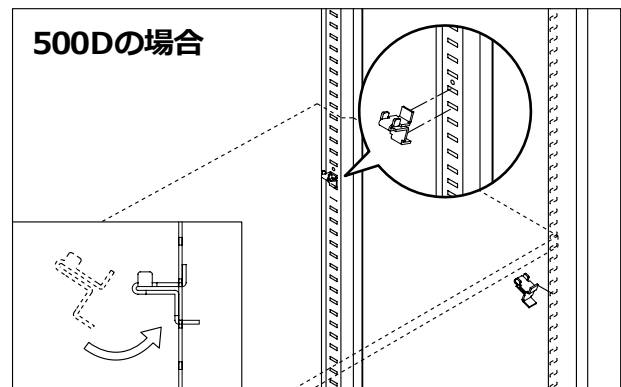
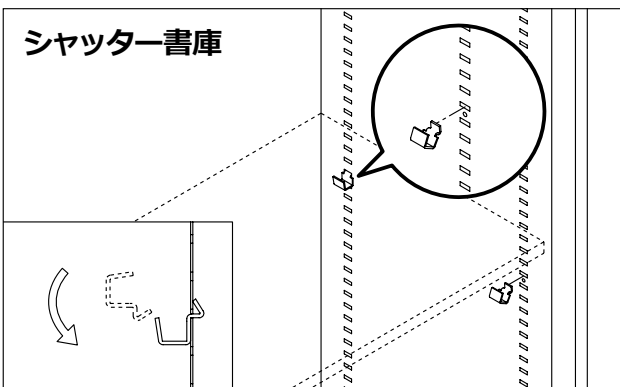
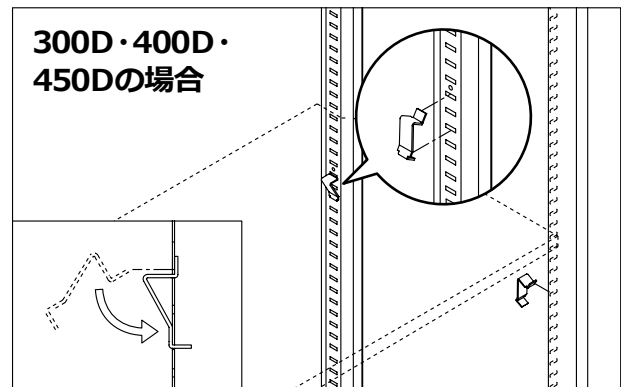


■棚板

- 棚板の高さ位置を変更する時は、4個の棚板取付金具が同一高さになるようにセットしてください。（ファイリング用品はメーカーにより異なりますので、寸法をご確認の上ご使用ください）

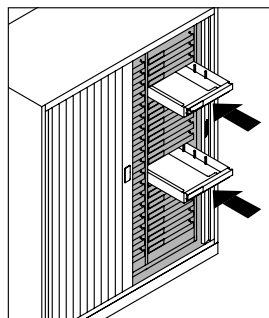
⚠ 注意

棚板には登らないでください。棚板が外れてケガをすることがあります。



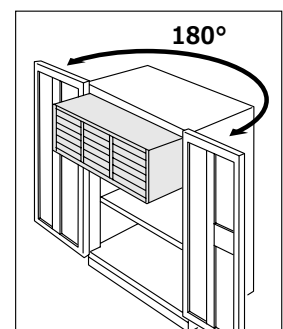
■シャッタークリスタル

- すべてのトレーを奥まで入れてからシャッター扉を閉めてください。トレーが飛び出した状態でシャッター扉を閉めると、破損する恐れがあります。



■組込みクリスタル

- 両開き書庫に組込む際には、扉は180°開いた状態で組み込んでください。



3. ご使用方法

操作方法

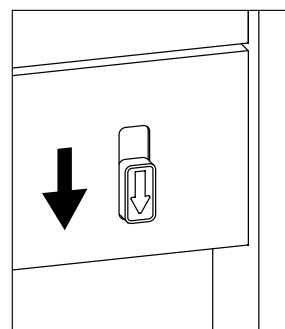
■スライドキャビネット

- 前列の移動棚を左右にスライドさせる際には、指をはさまないようにご注意ください。



■カップケース

- 右側の台引出しは、上にのせたものの落下を防ぐため、引き出すとラッチがかかり、しまえなくなる構造になっています。台引出しをしまう時は、レバーを下げながら台引出しを押ししてください。



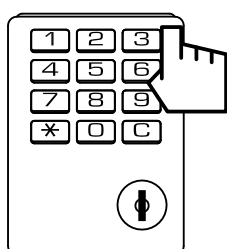
■プッシュ錠 操作手順

納品時、暗証番号は「1」に設定されています。任意の暗証番号に変更してからご使用ください。

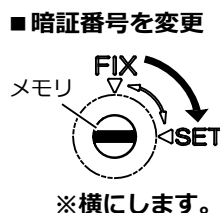
暗証番号設定のしかた

- ①あらかじめ設定した暗証番号を押して、扉または引き出しを開きます。
- ②裏面のメモリをSETに合わせます。
- ③表面のテンキーで設定したい番号を押します。
- ④番号が押された状態で再び裏面のメモリをFIXに合わせます。

【表面】

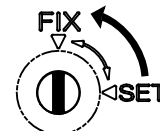


【裏面】



※横にします。

■暗証番号を確定



※縦にします。

・メモリはコイン等で操作してください。

【暗証番号について】

暗証番号は「0～9と＊」の11文字を使い、1～11桁で設定できます。

（例）「1 2」のように2桁の番号も「3 4 5 6 ＊」のような番号も可能です。

暗証番号は押した順番を区別しません。

（例）「1⇒2⇒3⇒4」「4⇒3⇒2⇒1」は同じ暗証番号「1 2 3 4」となります。

暗証番号には同じ文字を重複して使用できません。

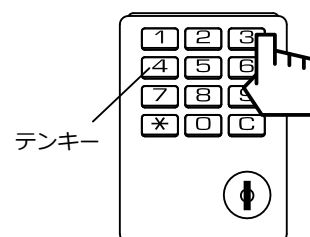
（例）「1⇒2⇒3⇒2」と押すことはできず、「1 2 3」と同じ暗証番号となります。

施錠のしかた

- ①扉または引出しを閉めると自動的に施錠されます。

解錠のしかた

- ①あらかじめ設定した暗証番号を押して、扉または引出しを開きます。
- ②解錠と同時にテンキーが戻ります。
 - ・暗証番号を押し間違えた場合は、テンキーの「C」を押すとテンキーが戻ります。



※プッシュ錠は固定式（連続方式）のみ利用可能です。暗証番号忘れや、その他の理由で解錠できない場合は、非常解錠キー（有料）もご用意しております。弊社販売窓口までお問い合わせください。

3. ご使用方法

■ ダイヤル錠 操作手順

**暗証番号を再設定するまで同じ番号を使用する場合
固定式(連続方式)**

〈 暗証番号の設定 〉

- ① ツマミをOPEN位置にします。
 - ② 裏側の切り換え部をコイン等で **①の状態** に合わせます。
 - ③ ダイヤルを回転させて暗証番号を設定します。
 - ④ 裏側の切り換え部を **②の状態** に戻します。
- ※暗証番号の再設定も上記手順で行ないます。

〈 施錠のしかた 〉

- ① ツマミがOPEN位置にあることを確認して扉/引出しを閉めます。
- ② ダイヤルを設定した暗証番号に合わせます。
- ③ ツマミをLOCK位置まで回転させます。
- ④ 施錠後はダイヤルを暗証番号以外の数字にしてください。

〈 解錠のしかた 〉

- ① ダイヤルを暗証番号の数字に合わせます。
- ② ツマミをOPEN位置に回転させます。
- ③ 解錠後はダイヤルを暗証番号以外の数字にしてください。

**暗証番号を毎回変更して使用する場合
自由変換式(ワンタイム方式)**

最初に裏側の切り換え部が **①の状態** になっていることを確認します。

〈 施錠のしかた 〉

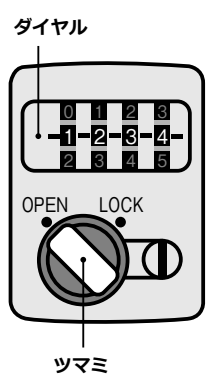
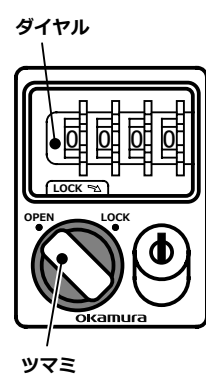
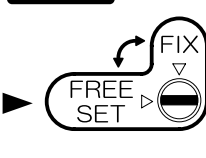
- ① ツマミがOPEN位置にあることを確認して扉/引出しを閉めます。
 - ② ダイヤルを任意の暗証番号に合わせます。
 - ③ ツマミをLOCK位置まで回転させて施錠します。
- 注意：ツマミをLOCK位置にした時点の番号が暗証番号になります。
- ④ 施錠後はダイヤルを暗証番号以外の数字にしてください。

〈 解錠のしかた 〉

- ① ダイヤルを暗証番号の数字に合わせます。
- ② ツマミをOPEN位置に回転させます。
- ③ 解錠後はダイヤルを暗証番号以外の数字にしてください。

---出荷時は固定の〔0000〕番に設定されています---

製品によって錠のタイプが異なります。
形状からタイプを判別してください。

タイプA	タイプB
 ダイヤル OPEN LOCK ツマミ	 ダイヤル OPEN LOCK Okamura ツマミ
①の状態  ※横にします	①の状態  ※横にします
②の状態  ※縦にします	②の状態  ※縦にします

ダイヤルを設定した暗証番号にしないまま裏面の切り替え部を **②の状態** から **①の状態** にすると、ツマミが回転しなかったり、新しい暗証番号が設定できなくなります。
その場合は、ダイヤルを一度現在の暗証番号に合わせ、ツマミが回転することを確認してから再度新しい暗証番号を設定してください。

暗証番号忘れや、その他の理由で解錠できない場合は、非常解錠キー（有料）で番号を検索することができますので、弊社販売窓口までお問い合わせください。
なお、鍵のタイプによって非常解錠キーが異なりますので、お問い合わせの際は鍵のタイプをお伝えください。

4. 末永くお使いいただくために

下記事項をお守りにならなかった場合には、製品に不具合が生じる場合があります。
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

使用上のご注意とメンテナンスについて

- 使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず早めの増締めをしてください。
- 直接熱いものを置かないでください。白い跡がつく場合があります。
- 湯気が当たる場所での使用は避けてください。サビの原因となります。
- 水に濡れた時は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- お茶・コーヒー・洗剤・薬品などをこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。
- この取扱説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。
- こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。保証期間終了後は早めに点検と修理（有償）を弊社にご用命ください。

日常のお手入れについて

[日常のお手入れ]

- 日常のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で行なってください。

[お手入れの際のご注意]

- 市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色などが無いことを確認してからご利用ください。

[著しく汚れた場合のお手入れ]

- 柔らかい布をうすめた中性洗剤溶液（1～3%）に濡らし、強く絞ってよく汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

5. 仕様

主な材質と表面処理

構造部材		種類	表面加工
本 体		金属（鋼）	アミノアルキド樹脂塗装 またはポリエステル塗装
把 手		ABS	—
ラッチ爪		ポリアセタール樹脂（ラテラル・3枚引違い）	—
		ポリカーボネート（両開き書庫）	—
3枚ガラス上下袴		AES	—
引違い扉上レール		再生ABS（スチール扉）	—
引違い扉下レール		ABS（スチール扉）	—
クリスタルトレー		ポリスチレン 〈PS〉	—
クリスタルレール		ポリアセタール樹脂	—
シャッタースラット部		ABS	—
シャッター用上下レール		ABS	—
天板	本 体	金属（鋼）	—
	表 面 材	メラミン化粧板	—
	縁 材	ABS	—

※製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。

保証の明細

家具の無償保証は、通常の補修（メンテナンス）が行われていることが前提となります。
保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

保証する項目について

保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具－製品安全基準のガイドライン」に基づいております。一般のオフィスにおいて、通常の執務状態（1日8時間程度）で使用した場合を想定して定められたものです。保証期間は、購入日から起算して項目ごとに下表の通りです。

項目	内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変色・褪色、レザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年

※保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）の提示がない
- ・中古品・譲渡品・個人売買品
- ・製品コードラベルの剥離・汚損などにより、製品コードや製造ロット等の識別ができない
- ・弊社に責めない外部要因（天災地変・火災・異常電圧等）に起因する故障及び破損
- ・日本国以外で使用する場合（公海上を含む）
- ・24時間・年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所（消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等）で使用している
- ・高温・多湿・著しい温度変化がある場所等異常な環境下で使用・保管している
- ・設置後の移動やお客様の運搬による故障及び破損
- ・弊社発行の説明書に従って組み立てられていない
- ・弊社発行の取扱説明書に従って使用されていない
- ・使用方法において、お客様の過失が認められる
- ・可動部の動作音（椅子のリクライニング等）
- ・消耗品（キャスター・脚端・フェルト・肘パッド・電球・電池・バッテリー等）
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
- ・通常使用により生じる異音・変形・キズ・錆・カビや、接触や摩耗による変色・褪色等。
- ・天然材料（木・革・その他）における色目・木目・節・しわ・傷等の質感の違い
- ・表面素材（張地・樹脂・塗装・その他）における色目・縫い・光沢等の質感の違い

修理部品の供給期間について

修理部品は製品の製造中止後5年間保有しております。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格・納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきますのでご了承ください。

JOIFA 標準使用期間について

日本オフィス家具協会（JOIFA）では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。

この期間は、注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。

その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお勧めさせていただく場合もあります。

詳しくは、日本オフィス家具協会（JOIFA）ホームページをご覧ください。

<https://www.joifa.or.jp/>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体にお問い合わせください。

Okamura

株式会社オカムラ

横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル

<https://okamura.co.jp/>

修理に関するご用命は

オカムラサポートアンドサービス

フリーダイヤル ☎ 0120-448-105

受付時間 24H 受付（無休）

製品に関するご質問は

お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-81-9060

受付時間 9:00-17:00（土・日・祝日を除く）

お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただくと、ご案内がスムーズです。